

---

---

## 原発事故時の避難計画などに関する質問・要望書

---

---

川西市長 大塩民生 様

福島第一原発事故から3年になりますが、いまだ多くの人々が困難な避難生活を強いられています。原発事故の悲劇を二度繰り返してはなりません。

しかし国は、再稼働と避難計画は「車の両輪」としながらも、法的にはリンクしないとして、避難計画の作成は自治体任せで、再稼働に向けて急ピッチで審査を進めています。

各自治体や関西広域連合では、地域防災計画を3月末に改定するため議論が行われています。私達は、形だけの避難計画で、再稼働の準備ができたとされることを案じています。

福井県は2月26日に広域避難計画として、避難先の体育館名などを公表しました。川西市は、おおい町住民の半数にあたる約4,000人の避難先となっており、小学校・高等学校を中心に19ヶ所が避難所となっています[資料1]。

他方で、兵庫県が昨年4月に実施したシミュレーションでは、県内でも高い甲状腺被ばくが予測されています[資料2]。井戸知事は2月27日の県議会で、高浜原発で事故が起こった場合、神戸市にプルームが到達するのは「最短で2時間」と答弁しています。このような状況で、避難受け入れはもちろんのこと、市民の安全が守れるのだろうかを案じています。

小浜市は、渋滞問題が解決できないため、避難計画は策定できないと語っています。十分に検討された末のことだと察します。川西市においても、下記の点などを熟考されるよう求めます。

### 【質問事項】

1. 避難元のおおい町との連絡・相談などは進んでいますか。
2. 避難所の体育館名は公表されていますが、要援護者への配慮や福祉避難所等での受け入れは考慮されていますか。
3. 避難中継所(30km圏外)から避難所までの移動手段はバスと聞いていますが、バス会社との連携は進んでいますか。
4. 琵琶湖が汚染された場合、安全な水の確保・配布方法などは決まっていますか。
5. 兵庫県のシミュレーションを見ると、川西市で避難受入が可能でしょうか。また、川西市民の避難について検討されていますか。
6. プルーム対策として、安定ヨウ素剤の備蓄や配布方法などは検討されていますか。

### 【要望事項】

1. 3月末に形だけの避難計画が完成したということのないよう、避難計画の困難点などについて、県や関西広域連合に意見を伝え、計画に明記するよう求めてください。
2. 避難計画では住民の安全を守ることができないと表明してください。大飯原発の再稼働に反対してください。

2014年3月14日 避難計画を案ずる関西市民有志

連絡先；美浜の会 大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581